



パワー不足は無く、音も静かです。何より排ガスのにおいが、てんぷら油のにおいそのもので、快適です。
(取材中に給油に来た運転手さん)



特定非営利活動法人「工房JOYさあくる」
〒017-0872 大館市片山町3丁目1-56 ☎FAX 49-6355

いつでも回収しています

施設の前には、廃食用油を回収するタンクを常設しています。皆様のご家庭にたまっている廃食用油を持ってきていただければ、いつでもお受けします。



は、回収量が約1000ℓで、花岡町、たつみ町からの分は、それぞれ約40ℓずつというところ。専用の軽トラックで収集にまわっていますが、市民の皆さんの関心が高いので、回収範囲はまだまだ広がると思っています。

生成したBDFは、回収量とほぼ同じ1000ℓほどで、市内の皆さんに使ってもらっています。

生成する機械の能力は、1日に100ℓ。施設の稼働日数が月に20日なので、1カ月の計画数値は、回収量、販売量共に2000ℓです。現在はちょうど計画の半分ほどです。

販売は会員への直接販売

販売は、会員登録されたかたへの直接販売です。この施設まで来ていただいて、会員証を提示していただいて給油します。土日や夜間は施設が開いていないので、いつでも給油できるといわけにはいかないのです、不便かもしれません。それでも営業車、トラックなどですと平日昼間に給油できます。

使うためには 手続きが必要です

BDFは、ディーゼルエンジンに軽油の代わりに使える燃料です。しかし、実際にBDFを

使うためには、車検証を「廃食用油(BDF)燃料」併用と変える必要があります。書類手続きのみです。比較的簡単にできます。そのうえで、確認書を交わし、会員証を発行します。

BDF使用上の注意

BDFには、軽油取引税がかかっていません。そのため、軽油より安くできるという面があります。しかし、軽油にBDFを混ぜてしまうと、全体に税金がかかります。ですから、会員の皆さんには100%BDFで使ってくださいとお願いしています。

3月までは試行期間として、1ℓ当たり90円、4月以降は95円での販売になります。冬場は生成が難しくなるため、添加剤が必要になります。そのためコストが上がり、11月から3月までは、1ℓ当たり100円になります。それでも軽油よりは大幅安いです。

廃食用油の地産地消

今後は、市内の給食センターからまとまった量を確保できればと考えています。それを市の公用車などに使っていただければ、良いリサイクルモデルになります。

一般家庭からの廃食用油は、厄介物です。燃やしたり、河川

や下水道に流したりしてしまうと、環境悪化の大きな原因になります。燃料に使うことができれば、ごみの減量にもつながり、まさに一石二鳥と言えます。

皆さんの家の前を、BDFを燃料にしたバスが運行するのを見たら、うれしくなってしまうのではないのでしょうか。

BDFで環境先端都市

将来は、家庭から出る廃食用油は100%リサイクルされるというのが理想ですね。ほかの町内からも参加したいという声があるので、もっともっとPRしたいです。

私どもは、非営利団体です。で、利益を追求するつもりはありませんが、健全な活動のためには、設備投資の分は回収できるようにしなければと考えています。

大きな事業所から「大量に使いたい」という問い合わせもありますが、一定品質のものを安定して大量に提供するのは、まだ難しい段階です。

少しずつでも、いろんなかたに使用していただくことで、環境に対する関心が高まるのではないかと考えています。

